

タンゴ

特徴 現在の形式のタンゴは、1800 年代の終わりにアルゼンチンのブエノスアイレスのスラムで生まれ、1920 年代初頭にパリのナイトクラブでより洗練された形式が人気を博した。イギリスのボールルームダンス大会でダンサーがスタッカート（断音の）動作を取り入れたときに、さらにまた作り変えられた。

特徴 このダンスは、音楽が大変リズムで旋律が美しく、動きは強くよく制御され、フットワークは細かくて複雑、姿勢は尊大な印象を与える。鋭いアクセントがあることが多い。

タイプ1 アルゼンチン – 強く支配的な男性

タイプ2 コンチネンタル／インターナショナル – より柔らかくより繊細、
「猫のような感じ」 – （ハバネラ／キューバン）

拍子記号 1 小節 4 ビートの 4 分の 4 拍子
または 1 小節で 2 ビートの 4 分の 2 拍子
しばしば 2 分の 2 拍子（カットタイム）
（タイプ1 – 常に 4 分の 4 拍子）
（タイプ2 – どちらかの場合もある）

テンポ スロー

アルゼンチン 24 小節／分（96 拍／分）

タンゴ・ロマンチカ 28 小節／分（112 拍／分）

ボールルームダンス おおよそ 33 小節／分（132 拍／分）

リズムパターン どのタンゴもとても明確な「1 2 3 4」のカウントであるが、それぞれの種類で「エンド」アクセントが異なるため、リズムは異なる。

タイプ1 アルゼンチン

ビートカウント 1 2 3 4 “エンド” / 1…

音楽は強く、劇的で、生き生きとしている

タイプ2 ハバネラ／キューバン

ビートカウント 1 2 “エンド” 3 4

音楽はタイプ1と同じだが、少し柔らかく、より繊細

一般的なリズム譜 多くのバリエーションがある。1つの曲の中で上記の2種類のタンゴが入れ替わることもある。

タイプ1 アルゼンチン

4/4

音楽のカウント | 1 2 3 4 | 1 2 3 4

スケートのカウント | 1 2 3 4 | 1 2 3 4

タイプ2 ハバネラ／キューバン

4/4

音楽のカウント | 1 2 3 4 | or | 1 2 3 4

スケートのカウント | 1 2 3 4 | or | 1 2 3 4

一般的な楽器 「バンドネオン」(1900年頃に導入されたアコーディオンやコンチェルティーナの一種) やアコーディオンがこの音楽に悲しげな印象を与える。バイオリンやリズム楽器を用いることもある。金管楽器はまれ。

短調であることが多い。

CDの音楽

タイプ1 アルゼンチン “Tango Melancholie”

タイプ2 ハバネラ “Romantica”

その他の関連するダンス

ミロンガ タンゴの先祖。スペインのアンダルシア地方が起源で、アルゼンチンやウルグアイにもたらされた。向いあって踊る。タンゴよりもテンポが早い。

タンゴ・アルゼンチナ エキシビションで行われる装飾的動作のあるタンゴ
例) 複雑でうねるようなステップを伴う足の蹴り